

7 監第 6 - 4 号
令和 7 年（2025 年） 6 月 6 日

茅 野 市 長 今 井 敦 様

茅野市議会議長 矢島 正恒 様

茅野市監査委員	山崎 文男
同	奥原 正夫
同	樋口 敏之

令和 7 年度工事現場監査の結果について（報告）

地方自治法第 1 9 9 条第 5 項の規定により、工事現場監査を実施したので、同条第 9 項の規定により次のとおり報告します。

令和 7 年度

工事現場監査結果報告書

茅 野 市 監 査 委 員

令和7年度 工事現場監査

1 監査の種類

地方自治法第199条第1項及び5項の規定による随時監査

2 監査対象及び日程

令和6年度に施工（竣工）した工事の中から次の9件について監査を行いました。

期 日	工 事 名	担 当 課
5月8日（木）	令和6年度 茅野市運動公園総合体育館サブアリーナ照明LED化工事	スポーツ健康課
5月8日（木）	令和6年度 茅野市運動公園総合体育館メイン体育館天井改修工事（債務負担）	スポーツ健康課
5月8日（木）	令和6年度 茅野市運動公園総合体育館メインアリーナ換気システム改修工事	スポーツ健康課
5月8日（木）	令和6年度 茅野市運動公園総合体育館照明LED化工事	スポーツ健康課
5月8日（木）	令和6年度 茅野市運動公園総合体育館中央トイレ改修工事	スポーツ健康課
5月8日（木）	令和6年度 農業水路等長寿命化・防災減災事業 入笠湖地区	農林課
5月8日（木）	令和6年度 農業水路等長寿命化・防災減災事業 入笠湖地区 ため池堤体空隙補修工事	農林課
5月8日（木）	令和6年度 緊急自然災害防止対策事業 丸山汐地区	農林課
5月9日（金）	令和5年度 白樺湖地区街なみ環境整備事業 公衆トイレ建築工事（繰越事業）	都市計画課

3 監査の方法

- （1）所管課から提出された事業概要資料について説明を求め、工期内に完成しているか等について現場の確認を行った。
- （2）変更契約について、変更に至った要因等の内容を確認した。
- （3）事業費の財源について、補助事業等を積極的に取り入れているか確認した。

4 監査の結果

- （1）各工事とも契約内容に沿って工期内に竣工し、供用されているものと認めた。
- （2）工事後の維持管理において、基準や目的に沿った使用をされているか定期的に確認されたい。
- （3）当初契約後に設計外の事案が生じた工事が複数あったが、各工事において、適切な対応

が図られていたことを確認した。

- (4) 行財政改革で市の財政が厳しい中、選択と集中で投資した意義を市民にも理解してもらえる分かりやすい広報をしていただきたい。
- (5) 施設全般に、受益者の相応な負担の面から、使用料の見直しを早急に進められたい。
- (6) 自然災害に備えることは重要であり、必要性・緊急性を考慮して計画的・継続的に行っていただきたい。
- (7) 監査用に添付された工事図面が解読しづらいので、写真を添付するなど、分かりやすい資料作成や説明に心掛けていただきたい。

5 工事の状況及び所見

(1) 令和6年度 茅野市運動公園総合体育館サブアリーナ照明LED化工事

【工事の概要等】

脱炭素社会に向けCO₂排出量等環境負荷の削減が求められていることや主要灯具メーカーが蛍光灯器具や蛍光ランプの生産を中止していることから市内公共施設のLED化を計画的に進めている中の一環工事である。照明をLEDへ改修することで大きなエネルギーの削減効果が見込めるほか、LEDは寿命も長いこと交換頻度が少なく維持管理の負担軽減が期待できる。

- | | |
|---------|---------------------|
| ① 工事の内容 | 総合体育館サブアリーナの照明のLED化 |
| 改修前 | 水銀灯（メタルハライドランプ） 56灯 |
| 改修後 | LED照明 28灯 |

- | | |
|---------|-----------|
| ② 入札年月日 | 令和6年3月28日 |
|---------|-----------|

- | | |
|--------|-------------------|
| ③ 契約金額 | 当初金額 22,330,000 円 |
| | 変更増額 0 円 |
| | 最終金額 22,330,000 円 |

- | | |
|----------|--------------------|
| ④ 契約の相手方 | 住所 茅野市宮川3968番地 |
| | 氏名 平澤電気工事株式会社茅野営業所 |

- | | |
|---------|-----------|
| ⑤ 竣工年月日 | 令和6年9月30日 |
|---------|-----------|

- | | |
|--------------|------------|
| ⑥ 請負代金の最終支払日 | 令和6年10月30日 |
|--------------|------------|

- | | |
|------------|-------------------------------|
| ⑦ 工事費の財源内訳 | 市支出金 100% 22,330,000 円 |
| | (起債充当：脱炭素化推進事業債 20,100,000 円) |

⑧ 総合所見

- LED化は、大幅な節電効果が期待できる。一方でイニシャルコストとの比較により、どこまで採算性があるのか検証をしていただきたい。
- 電気料金は変動があるので、使用量(kw)がどれだけ減少したかを追跡していただきたい。

(2) 令和6年度 茅野市運動公園総合体育館メイン体育館天井改修工事（債務負担）

【工事の概要等】

2011年に発生した東日本大震災における大型施設の吊天井の落下被害を受けて2014年に天井の耐震性が見直され、国土交通省より建築基準法において天井脱落対策にかかる技術基準が施行された。

総合体育館メインアリーナの天井は技術基準が施行される前に設置されており、既存不適格建築物となっている。継続利用する場合は遡及適用されない状況ではあるが、大規模災害時の物流拠点となる施設であることを鑑み基準に適合する工事を行ったものである。

- ① 工事の内容 天井落下防止対策工事（天井全面張替え）
- ② 入札年月日 令和6年5月9日
- ③ 契約金額 当初金額 211,120,000 円
変更増額 0 円
最終金額 211,120,000 円
- ④ 契約の相手方 住 所 茅野市宮川7081番地
氏 名 株式会社カネトモ
- ⑤ 竣工年月日 令和7年3月31日
- ⑥ 請負代金の最終支払日 令和7年4月30日
- ⑦ 工事費の財源内訳 市支出金 100%
(起債充当：緊急防災・減災事業債 21,110,000 円)
- ⑧ 総合所見
○耐震吊り天井の落下防止対策は、耐震基準に則り、確立された工法により行われたものであることが確認された。
○スポーツ施設全般に言えるが、事故の事前防止の観点から定期的な点検と補修をさ

れたたい。

(3) 令和6年度 茅野市運動公園総合体育館メインアリーナ換気システム改修工事

【工事の概要等】

メイン体育館天井改修工事に関連して、天井裏に設置されている換気設備の改修工事を行ったものである。

当該設備は、昭和55年の総合体育館建設時から一度も改修されていなかったため、機器の延命を図るとともに将来的な機器の不具合に備え、大規模な工事を発生させないようにするために行ったものである。

- | | | | |
|---|------------|---|--------------|
| ① | 工事の内容 | 換気設備設置床工事(鉄骨補強含む) 5箇所、遠心送風機(片吸込)更新2台、Vベルト更新3台、ダクト更新 他 | |
| ② | 入札年月日 | 令和6年10月9日 | |
| ③ | 契約金額 | 当初金額 | 14,410,000 円 |
| | | 変更増額 | 0 円 |
| | | 最終金額 | 14,410,000 円 |
| ④ | 契約の相手方 | 住 所 | 茅野市宮川7081番地 |
| | | 氏 名 | 株式会社カネトモ |
| ⑤ | 竣工年月日 | 令和7年3月31日 | |
| ⑥ | 請負代金の最終支払日 | 令和7年4月30日 | |
| ⑦ | 工事費の財源内訳 | 市支出金 | 100% |
| | | (起債充当：緊急防災・減災事業債 10,800,000 円) | |
| ⑧ | 総合所見 | | |

総合体育館建設から改修をしていない換気システムについて、天井改修工事を好機として併せて改修したものであり、随意契約となった理由も納得できるものであった。

(4) 令和6年度 茅野市運動公園総合体育館照明LED化工事

【工事の概要等】

サブアリーナ照明LED化工事と同様、脱炭素社会に向けCO2 排出量等環境負荷の削減が求められていることや主要灯具メーカーが蛍光灯器具や蛍光ランプの生産を中止し

①工事の内容 メインアリーナ、サブアリーナを除く総合体育館内各室、廊下等の照明並びに総合体育館から電気を引き込む屋外照明を含む全照明のLED化

③ 契約金額	当初金額	103,400,000 円
	変更増額	0 円
	最終金額	103,400,000 円

⑦ 工事費の財源内訳 市支出金 100%
(起債充当：脱炭素化推進事業債 93,000,000 円)

○スイッチは、人感センサーによるものを多用しており、より節電効果が図られているものであることが確認された。

○サブアリーナのLED化工事と契約を分けているが、同一発注のほうが経費が削減できなかったか検証をしていただきたい。

併せて利用者が水分補給等するための水汲み場が新設され、利便性の向上が図られ

① 工事の内容 天井・壁・床改修、仕切り壁変更、衛生器具更新、照明LED化、水汲み場新設 他

② 入札年月日 令和6年10月29日

③ 契約金額	当初金額	46,200,000 円
	変更増額	0 円
	最終金額	46,200,000 円

④ 契約の相手方 住 所 茅野市宮川7081番地
氏 名 株式会社カネトモ

⑤ 竣工年月日 令和7年3月31日

⑥ 請負代金の最終支払日 令和7年4月30日

⑦ 工事費の財源内訳 市支出金 100%
(起債充当:公共施設等適正管理推進事業債 41,500,000 円)

⑧ 総合所見

○男女トイレ内にベンチを兼ねた荷物置場の設置や多目的トイレに大型のベッドが配置されていたり、トイレ改修に併せ水汲み場を設置したりと、利用者の利便性を十分に考慮した設計・施工になっていることが確認された。

○今回の改修は中央トイレのみで、館内の他のトイレは未改修のため和式便器が残っているとのことだが、足腰への影響など和式便器のメリットも考慮し、スポーツを振興する施設として和式便器を残していくことも検討していただきたい。

(6) 令和6年度 農業水路等長寿命化・防災減災事業 入笠湖地区

【工事の概要等】

令和2年度に県による豪雨耐性評価診断を実施したところ、堤体の余裕高の不足、波除護岸高の不足及び洪水吐能力の不足が判明した。近年頻発化する豪雨時における、越水による堤体の決壊を未然に防止する目的で改修工事を実施したものである。

①工事の内容 洪水吐改修工 L=20.1m
波除護岸嵩上工 L=83.0m

- ② 入札年月日 令和6年8月22日
- ③ 契約金額
 当初金額 10,260,800 円
 変更増額 420,200 円
 最終金額 10,681,000 円
- ④ 契約の相手方 住 所 茅野市湖東3295番地
 氏 名 有限会社 小平建設
 代表取締役 小平良司

⑤ 竣工年月日 令和7年3月11日

⑥ 請負代金の最終支払日 令和7年3月28日

⑦ 工事費の財源内訳

国庫支出金 (55%)	5,574,006 円
県支出金 (21%)	2,128,257 円
市支出金 (16%)	2,157,017 円
地元負担金 (8%)	821,720 円

⑧ 総合所見

○貯水することがリスクになる考え方もあるが、大雨時の貯水池としての役目や山林火災等の水利としての活用が考えられることが確認された。

○廃止することの検討もあったが、水利権者が多数いる中で地元との協議により存続することが決まったことが確認された。

(7) 令和6年度 農業水路等長寿命化・防災減災事業 入笠湖地区 ため池堤体空隙補修工事

【工事の概要等】

令和2年度から令和4年度にかけて実施した耐震性点検等の土質調査により、堤体内に空洞が確認されていたが緊急性については低いとされていた。その後、ため池定期パトロールにより対策の必要性が指摘されたこと、また令和6年1月に発生した能登半島地震による現地での被災状況も考慮して、本事業にて追加で空洞対策を行うことで更なる防災減災を図ったもの。

- ① 工事の内容 堤体空隙補修工
 薬液注入工 (H=12.0m、土被り H=1.5m) N=7 本
 薬液注入工 (H= 8.0m、土被り H=5.0m) N=2 本

② 入札年月日 令和6年10月10日

③ 契約金額	当初金額	4,620,000 円
	変更増額	297,000 円
	最終金額	4,917,000 円

④ 契約の相手方	住 所	茅野市湖東 3 2 9 5 番地
	氏 名	有限会社 小平建設
		代表取締役 小平良司

⑤ 竣工年月日 令和 7 年 3 月 1 1 日

⑥ 請負代金の最終支払日 令和 7 年 3 月 2 8 日

⑦ 工事費の財源内訳	国庫支出金 (55%)	2,565,994 円
	県支出金 (21%)	979,743 円
	市支出金 (16%)	992,983 円
	地元負担金 (8%)	378,280 円

⑧ 総合所見

○耕作者が減っている中で、貯水量を 10% 余減らし存続したことが確認された。
 ○空洞ができた原因ははっきり特定できないが、堤体維持のために必要な工事であったことが確認された。

(8) 令和 6 年度 緊急自然災害防止対策事業 丸山汐地区

【工事の概要等】

本水路の流末である一級河川弓振川との合流部において、令和 4 年 6 月豪雨により、左岸側石積み護岸の下部が流出し背面耕地の法面が一部陥没した。規模が大きく高額となることから、国の補助事業を検討したが採択基準を満たさなかったことから、起債事業である本事業にて復旧工事を行ったもの。

① 工事の内容 練ブロック積工 L = 6.3 m

② 入札年月日 令和 6 年 1 1 月 1 4 日

③ 契約金額	当初金額	8,107,000 円
	変更増額	473,000 円
	最終金額	8,580,000 円

④ 契約の相手方 住 所 茅野市宮川5509
氏 名 矢島興業
代表 矢島孝昭

⑤ 竣工年月日 令和7年3月21日

⑥ 請負代金の最終支払日 令和7年3月28日

⑦ 工事費の財源内訳 市支出金 100%

⑧ 総合所見

自然災害に備えることは重要であり、必要性・緊急性を考慮して計画的・継続的に行っていたきたい（再掲）。

（9）令和5年度 白樺湖地区街なみ環境整備事業 公衆トイレ建築工事（繰越事業）

【工事の概要等】

白樺湖地区は八ヶ岳中信高原国定公園内に位置する高原リゾート地で、周辺にはビーナスラインが通り、中南信広域の高原観光の拠点となっている。白樺湖南側は高原の植物や四季の移り変わりを楽しめる居住地となっていて、都市部からの移住者にも注目されるエリアとなっている。西側は、白樺湖観光センターや池ノ平・御座岩岩陰遺跡があり観光の中心地となっている一方、周辺には経営破綻し廃屋状態となったホテル等が立ち並んでおり、住環境が悪化している。居住地の住環境の改善および観光地としての魅力向上を目的として公園緑地の整備等景観修復を実施する中の一環として、周辺の老朽化した公衆トイレを統合する形で新設したもの。

① 工事の内容 木造平屋建 床面積 49.68㎡（建築面積も同面積）

② 入札年月日 令和5年6月29日

③ 契約金額 当初金額 56,210,000 円
変更増額 1,518,000 円
最終金額 57,728,000 円

④ 契約の相手方 住 所 茅野市宮川5592番地3
氏 名 株式会社宮沢工務店
代表取締役 宮沢義仁

⑤ 竣工年月日 令和6年6月22日

⑥ 請負代金の最終支払日 令和6年10月30日

⑦ 工事費の財源内訳	国庫支出金 (50%)	28,864,000 円
	市支出金 (50%)	28,864,000 円

⑧ 総合所見

○白樺湖自治会や柏原財産区など地元関係者とのワークショップを通して得られた成果を反映した事業であることが確認された。

○今後の管理は、観光課が所管し地元まちづくり協議会が日常管理をするとのことであるが、当事業のコンセプトでもある「良好な景観」を維持できるよう注視していただきたい。

○公衆トイレの新築は、観光客に大きな満足を与えると考えるが、50%の国庫補助があつたとはいえ多額の投資である。このため、観光客数や交流人口等を常に計測し、より集客力のある観光資源となるよう努めていただきたい。